#### 第3章 学習内容の観点から

# DATA3-① 授業で指導しやすいと感じる学習内容と指導しにくいと感じる学習内容について (小学校算数)

「授業で指導しやすいと感じる学習内容」は、回答者数30人に対して、上位3つまで複数回答可で、二年生の「乗法九九」が7人(23.3%)、四年生の「長方形・正方形の面積」が5人(16.7%)であった。

指導しやすい理由として、「乗法九九」では、7人のうち4人(57.1%)が「図や言葉を使って説明しやすい」を選択し、7人のうち3人(42.9%)が「題材の場面設定がしやすい」を選択した。また、「長方形・正方形の面積」では、5人全員(100%)が「図や言葉を使って説明しやすい」を選択した。

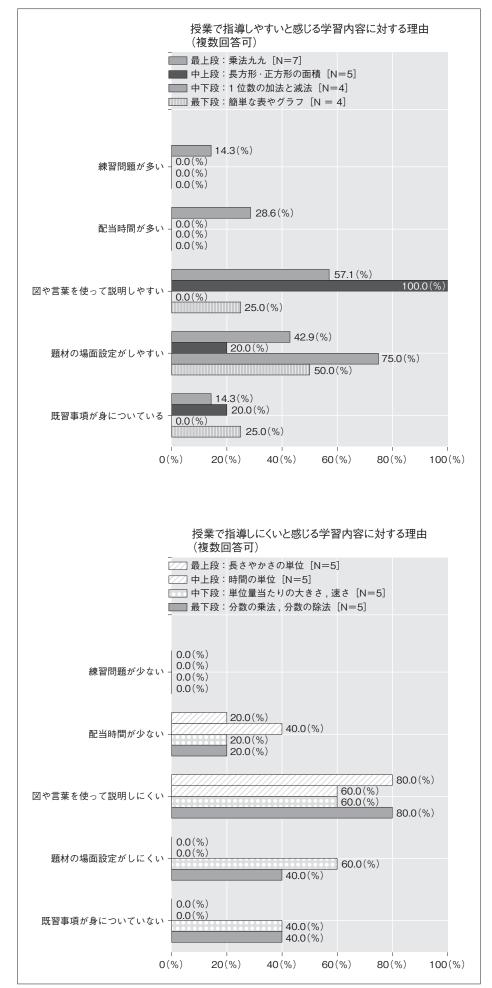
一方,「授業で指導しにくいと感じる学習内容」は、回答者数30人に対して、上位3つまで複数回答可で、 二年生の「長さやかさの単位」、「時間の単位」、五年生の「単位量あたりの大きさ、速さ」、六年生の「分数 の乗法、分数の除法」がそれぞれ5人(16.7%)であった。

指導しにくい理由として、「長さやかさの単位」、「分数の乗法、分数の除法」では、5人のうち4人(80.0%)が「図や言葉を使って説明しにくい」を選択した。

- ${f Q}$  授業で指導しやすい(児童生徒が理解しやすい)と感じる学習内容とその理由を挙げてください。 (小学校算数) (D-2)
- Q 授業で指導しにくい(児童生徒が理解しにくい)と感じる学習内容とその理由を挙げてください。 (小学校算数)(D-3)







※このページの棒グラフの模様は、34、35ページのグラフの凡例に記載されている領域の模様に対応しています。

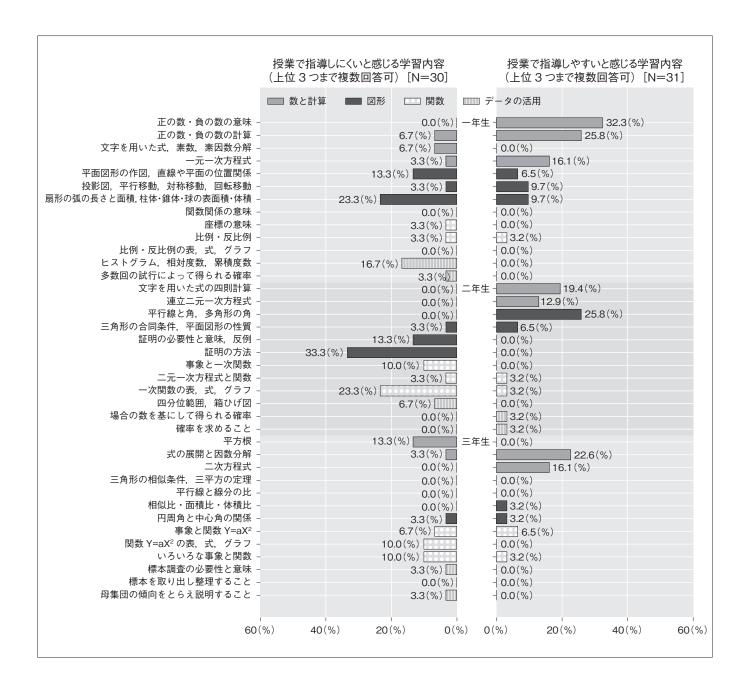
# DATA3-② 授業で指導しやすいと感じる学習内容と指導しにくいと感じる学習内容について (中学校数学)

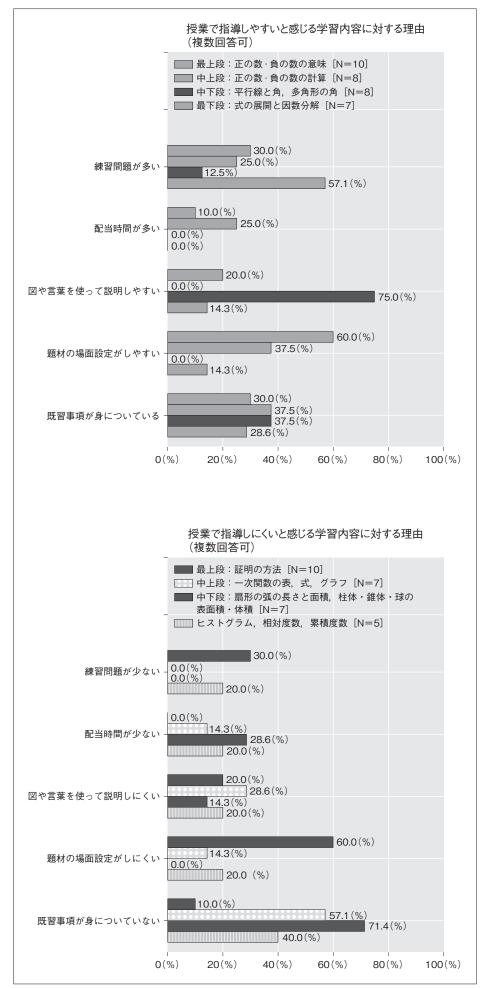
「授業で指導しやすいと感じる学習内容」は、回答者数31人に対して、上位3つまで複数回答可で、一年生の「正の数・負の数の意味」が10人(32.3%)、一年生の「正の数・負の数の計算」、二年生の「平行線と角、多角形の角」がそれぞれ8人(25.8%)、三年生の「式の展開と因数分解」が7人(22.6%)であった。指導しやすい理由として、「正の数・負の数の意味」では、10人のうち6人(60.0%)が「題材の場面設定がしやすい」を選択した。また、「平行線と角、多角形の角」では、8人のうち6人(75.0%)が「図や言葉を使って説明しやすい」を選択し、「式の展開と因数分解」では、7人のうち4人(57.1%)が「練習問題が多い」を選択した。

一方,「授業で指導しにくいと感じる学習内容」は、回答者数30人に対して、上位3つまで複数回答可で、 二年生の「証明の方法」が10人(33.3%)、一年生の「扇形の弧の長さと面積、柱体・錐体・球の表面積・ 体積」、二年生の「一次関数の表/式、グラフ」がそれぞれ7人(23.3%)であった。

指導しにくい理由として、「証明の方法」では、10人のうち6人(60.0%)が「題材の場面設定がしにくい」を選択した。また、「扇形の弧の長さと面積、柱体・錐体・球の表面積・体積」では、7人のうち5人(71.4%)が「既習事項が身についていない」を選択した。

- ${f Q}$  授業で指導しやすい(児童生徒が理解しやすい)と感じる学習内容とその理由を挙げてください。  ${f (中学校数学)}$  (D-2)
- Q 授業で指導しにくい(児童生徒が理解しにくい)と感じる学習内容とその理由を挙げてください。 (中学校数学)(D-3)





※このページの棒グラフの模様は、38ページのグラフの凡例に記載されている領域の模様に対応しています。

### DATA3-③ 授業で指導しやすいと感じる学習内容と指導しにくいと感じる学習内容について (小学校理科)

「授業で指導しやすいと感じる学習内容」は、回答者数252人に対して、上位3つまで複数回答可で、三年生の「磁石の性質」が17.9%、「風とゴムの力の働き」が17.1%、五年生の「物の溶け方」が15.1%、六年生の「燃焼の仕組み」が15.1%であった。

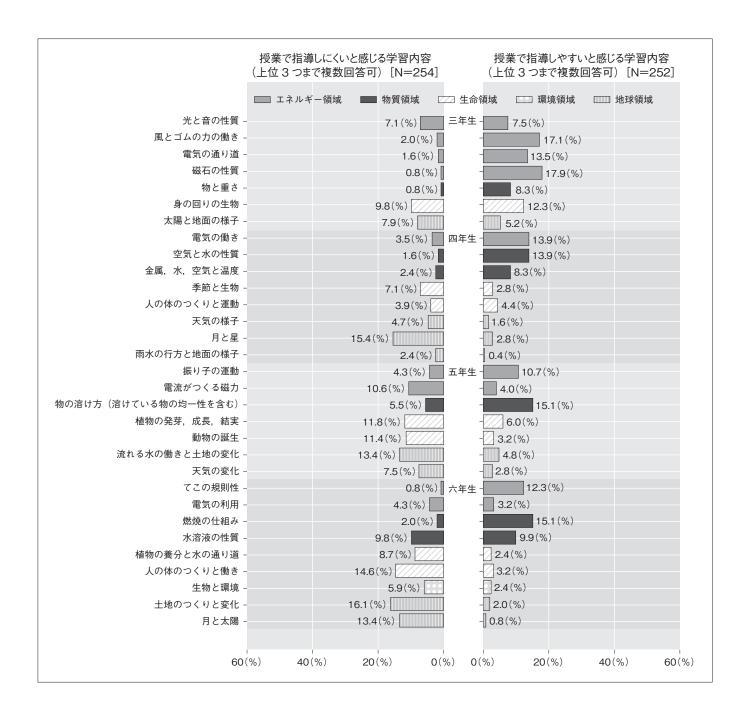
指導しやすい理由として、「磁石の性質」では、回答者数44人のうち86.4%が「実験観察が行いやすい」を選択し、「風とゴムの力の働き」では、回答者数43人のうち60.5%が「実験観察が行いやすい」を選択した。また、「物の溶け方」では、回答者数38人のうち76.3%が「実験観察が行いやすい」を選択し、「燃焼の仕組み」では、回答者数38人のうち71.1%が「実験観察が行いやすい」を選択した。したがって、エネルギー領域の「磁石の性質」、「風とゴムの力の働き」、及び物質領域の「物の溶け方」、「燃焼の仕組み」の全てで、「実験観測が行いやすい」ことが授業で指導しやすいと感じる主な理由となっていることがわかる。

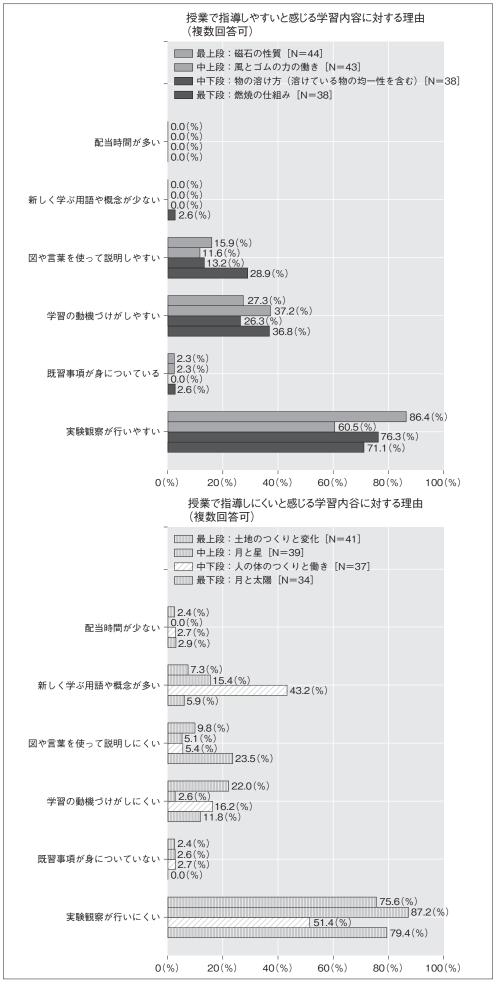
一方,「授業で指導しにくいと感じる学習内容」は、回答者数254人に対して、上位3つまで複数回答可で、 六年生の「土地のつくりと変化」が16.1%、四年生の「月と星」が15.4%、六年生の「人の体のつくりと 働き」が14.6%、「月と太陽」が13.4%であった。

指導しにくい理由として、「土地のつくりと変化」では、41人のうち75.6%が「実験観察が行いにくい」を選択し、「月と星」では、39人のうち87.2%が「実験観察が行いにくい」を選択した。また、「人の体のつくりと働き」では、37人のうち51.4%が「実験観察が行いにくい」を選択し、43.2%が「新しく学ぶ用語や概念が多い」を選択した。さらに、「月と太陽」では、34人のうち79.4%が「実験観察が行いにくい」を選択した。しがたって、地球領域の「土地のつくりと変化」、「月と星」、「月と太陽」では、「実験観察が行いにくい」ことが授業で指導しにくいと感じる主な理由となっていることがわかる。生命領域の「人の体のつくりと働き」では、「実験観察が行いにくい」こととともに「新しく学ぶ用語や概念が多い」ことが授業で指導しにくいと感じる理由となっていると考えられる。

小学校の各教諭により指導のしやすさ・しにくさが分かれる学習内容は,三年生の「身の回りの生物」,「太陽と地面の様子」, 六年生の「水溶液の性質」であった。

- Q 授業で指導しやすい(児童生徒が理解しやすい)と感じる学習内容とその理由を挙げてください。 (小学校理科)(D-4)
- ${f Q}$  授業で指導しにくい(児童生徒が理解しにくい)と感じる学習内容とその理由を挙げてください。 (小学校理科) (D-5)





※このページの棒グラフの模様は、41ページのグラフの凡例に記載されている領域の模様に対応しています。

### DATA3-④ 授業で指導しやすいと感じる学習内容と指導しにくいと感じる学習内容について (中学校理科)

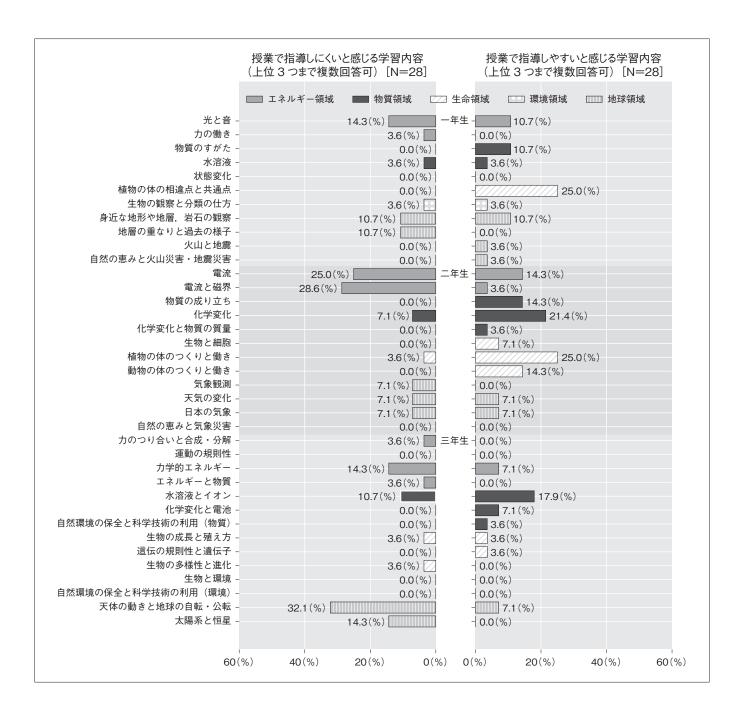
「授業で指導しやすいと感じる学習内容」は、回答者数28人に対して、上位3つまで複数回答可で、一年生の「植物の体の相違点と共通点」が25.0%、二年生の「植物の体のつくりと働き」が25.0%であった。

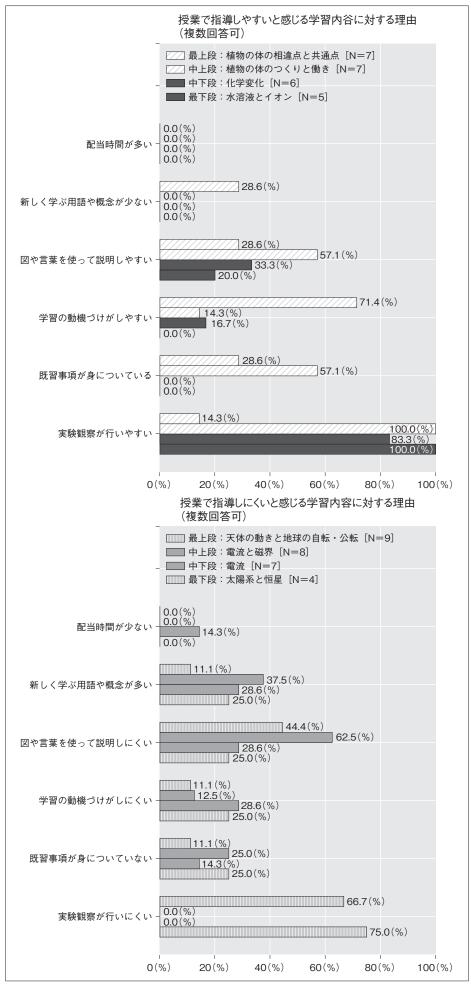
指導しやすい理由として、「植物の体の相違点と共通点」では、7人のうち5人(71.4%)が「学習の動機づけしやすい」、7人のうち2人(28.6%)が「新しく学ぶ用語や概念が少ない」、「図や言葉を使って説明しやすい」及び「既習事項が身についている」を選択し、「植物の体のつくりと働き」では、7人のうち全員(100%)が「実験観察が行いやすい」、7人のうち4人(57.1%)が「図や言葉を使って説明しやすい」及び「既習事項が身についている」を選択した。したがって、生命領域の「植物の体の相違点と共通点」と「植物の体のつくりと働き」では、授業で指導しやすいと感じる理由として様々な理由が考えられる。

一方,「授業で指導しにくいと感じる学習内容」は、回答者数28人に対して、上位3つまで複数回答可で、 三年生の「天体の動きと地球の自転・公転」が32.1%、二年生の「電流と磁界」が28.6%であった。

指導しにくい理由として、「天体の動きと地球の自転・公転」では、9人のうち6人(66.7%)が「実験観察が行いにくい」を選択し、「電流と磁界」では、8人のうち5人(62.5%)が「図や言葉を使って説明しにくい」を選択した。

- ${f Q}$  授業で指導しやすい(児童生徒が理解しやすい)と感じる学習内容とその理由を挙げてください。  ${f (中学校理科)}$  (D-4)
- Q 授業で指導しにくい(児童生徒が理解しにくい)と感じる学習内容とその理由を挙げてください。 (中学校理科)(D-5)





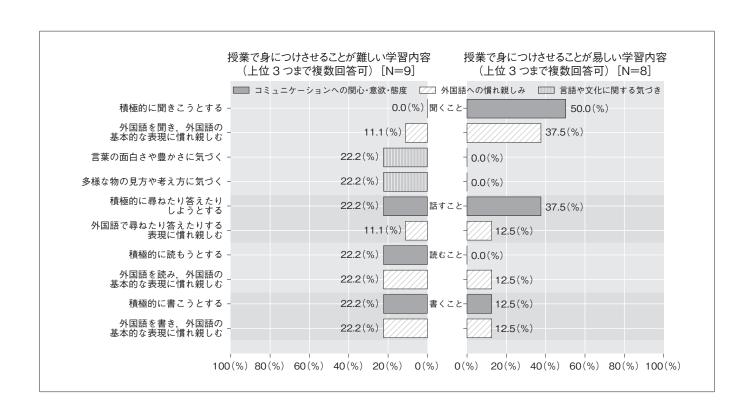
※このページの棒グラフの模様は、44ページのグラフの凡例に記載されている領域の模様に対応しています。

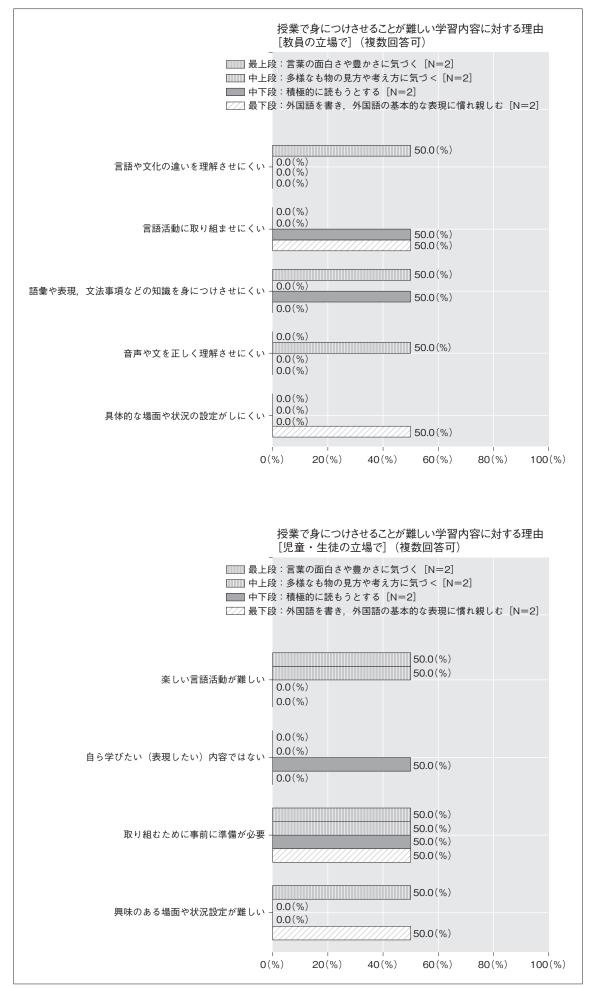
### DATA3-⑤ 授業で身につけさせることが易しいと感じる学習内容と身につけさせることが難しいと感じる学習内容について(小学校外国語)

「授業で身につけさせることが易しいと感じる学習内容」は、上位3つまで複数回答可で、「積極的に聞こうとする」が50.0%、「外国語を聞き、外国語の基本的な表現に慣れ親しむ」及び「積極的に尋ねたり答えたりしようとする」が37.5%であった。その理由として、「積極的に聞こうとする」では回答者数4人のうち75.0%が教師の立場で「具体的な場面や状況の設定がしやすい」を選択し、回答者数4人のうち75.0%が児童・生徒の立場で「興味のある場面や状況設定が可能」を選択した。

一方,「授業で身につけさせることが難しいと感じる学習内容」は、上位3つまで複数回答可で、「言葉の面白さや豊かさに気づく」、「多様な物の見方や考え方に気づく」、「積極的に読もうとする」などが22.2%であった。

- Q (小学校外国語) 授業で身につけさせる(児童生徒が身につける)ことが易しいと感じる学習内容と その理由を挙げてください。(D-9)
- $\mathbf{Q}$  (小学校外国語)授業で身につけさせる(児童生徒が身に付ける)ことが難しいと感じる学習内容とその理由を挙げてください。(D-10)





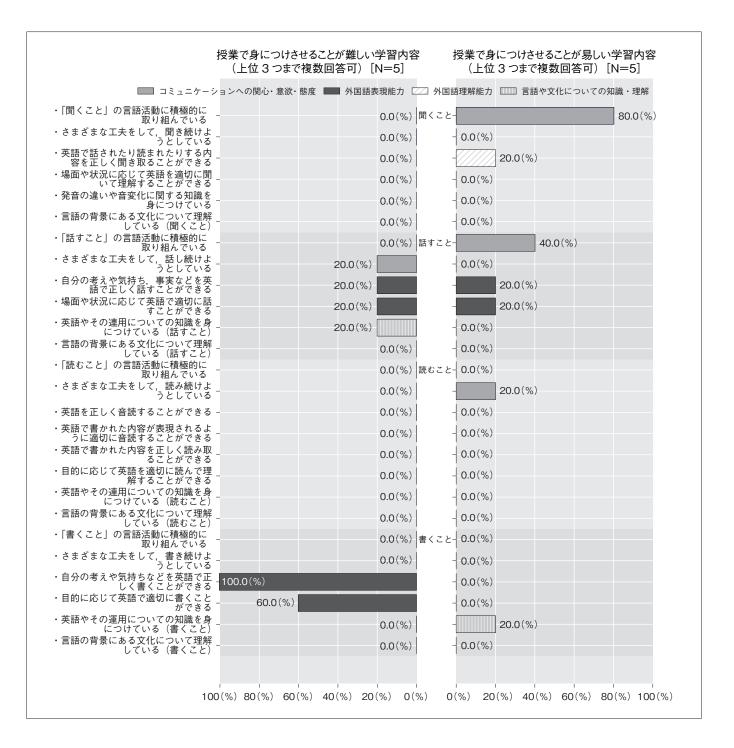
※このページの棒グラフの模様は、46ページのグラフの凡例に記載されている領域の模様に対応しています。

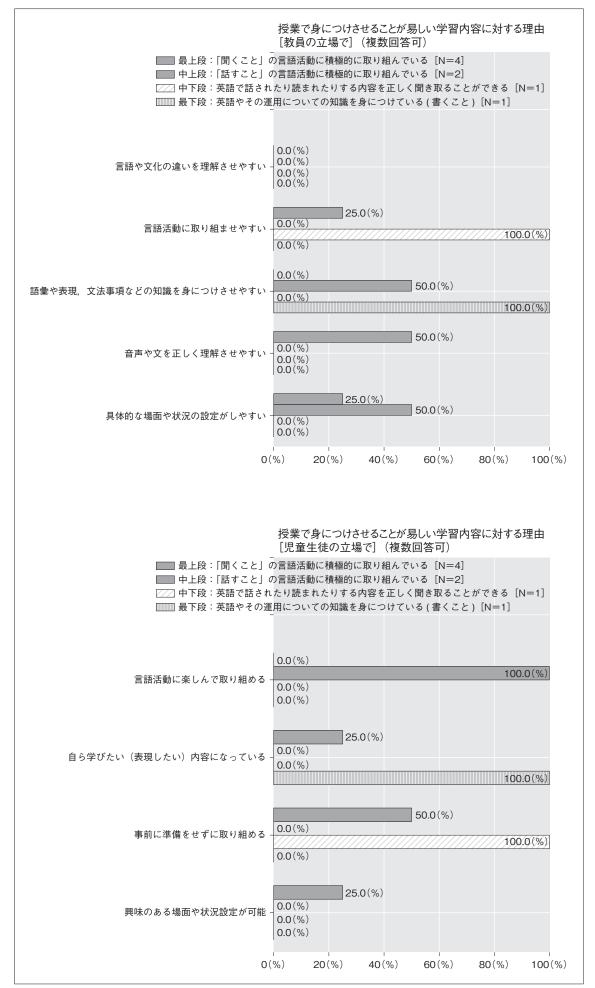
DATA3-⑥ 授業で身につけさせることが易しいと感じる学習内容と身につけさせることが難しいと感じる学習内容について (中学校外国語)

「授業で身につけさせることが易しいと感じる学習内容」は、「「聞くこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる」が80.0%、「「話すこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる」が40.0%であった。その理由として、「「聞くこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる」では回答人数4人のうち50.0%が教師の立場で「音声や文を正しく理解させやすい」を選択し、回答人数4人のうち50.0%が児童・生徒の立場で「事前に準備をせずに取り組める」を選択した。

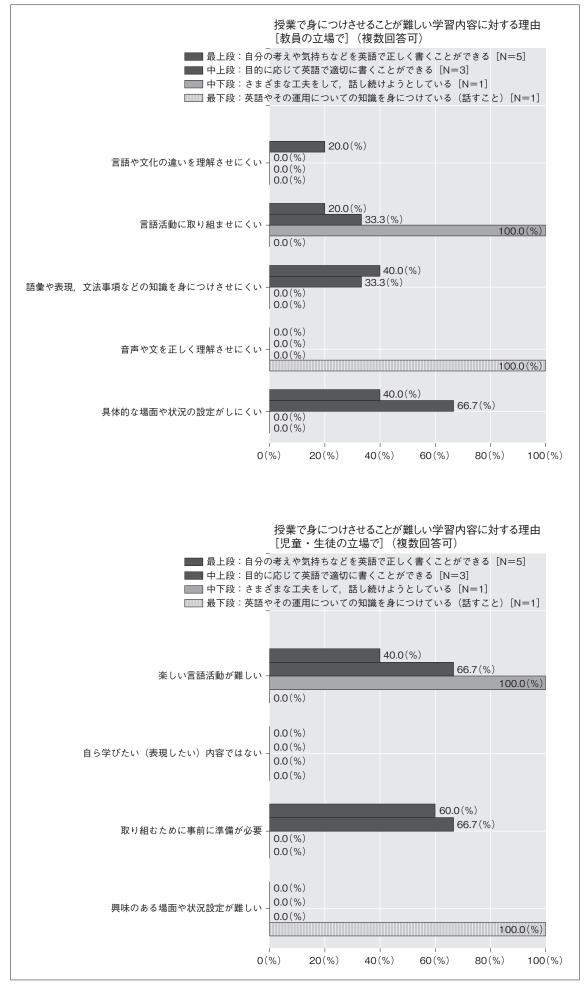
一方,「授業で身につけさせることが難しいと感じる学習内容」は,「自分の考えや気持ちなどを英語で正しく書くことができる」が100%,「目的に応じて英語で適切に書くことができる」が60.0%であった。その理由として,「自分の考えや気持ちなどを英語で正しく書くことができる」では回答者数5人のうち40.0%が教師の立場で「語彙や表現,文法事項などの知識を身につけさせにくい」及び「具体的な場面や状況の設定がしにくい」を選択し、回答者数5人のうち60.0%が児童・生徒の立場で「取り組むために事前に準備が必要」を選択した。

- Q (中学校外国語) 授業で身につけさせる(児童生徒が身につける)ことが易しいと感じる学習内容と その理由を挙げてください。(D-9)
- Q (中学校外国語) 授業で身につけさせる(児童・生徒が身につける)ことが難しいと感じる学習内容とその理由を挙げてください。(D-10)





※このページの棒グラフの模様は、49ページのグラフの凡例に記載されている領域の模様に対応しています。



※このページの棒グラフの模様は、50ページのグラフの凡例に記載されている領域の模様に対応しています。